

設立記念シンポジウム

子どもの非行防止と立ち直り支援

——社会安全のための研究と実務の協働——

平成25（2013）年6月8日、「子どもの非行防止と立ち直り支援——社会安全のための研究と実務の協働——」と題して、当研究所の設立を記念するシンポジウムを開催した。研究所設立の趣旨を社会に発信し、関係する諸機関・団体・個人に研究へのご助力をお願いするとともに、最初の研究プロジェクトである「子どもと安全」をめぐる問題状況を明らかにすることを目的とするものであった。このシンポジウムには、瀧静子委員長・石川良一委員（現委員長）ほか4名の京都府公安委員、熊崎義純警察庁近畿管区警察局長をはじめとする警察関係者、服部達也法務省奈良少年院長をはじめとする矯正・保護関係者、高田晃京都市児童相談所長をはじめとする児童福祉関係者など、約250名の方々にご参加いただいた。

シンポジウムは3部構成で行われた。第1部は研究所設立の記念式典とし、本学理事長柿野欽吾の挨拶、学長藤岡一郎による研究所設立趣旨説明につづいて、山下史雄警察庁長官官房審議官（生活安全局担当）（現京都府警察本部長）、塚本稔京都市副市長、小林裕明京都府府民生活部長からご祝辞を頂戴した。第2部では、本研究所所長渥美東洋と安田貴彦京都府警察本部長による基調講演が行われた。第3部はパネルディスカッションであり、大橋忠司京都市教育委員会事務局指導部生徒指導課長、藤木祥史京都府府民生活部青少年課非行少年立ち直り支援チーム支援コーディネーター、櫻井美香警察庁警察大学校警察政策研究センター主任教授による3本の報告ののち、基調講演者も含めてディスカッションを行った。

本誌では、第1部は割愛し、第2部と第3部の記録を以下に掲載する。